

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

## 1 評価機関

名称：一般社団法人しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市真田町長6918番地1
評価実施期間：平成30年7月1日から平成30年10月30日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） ・050431 ・B16022 ・B18051 ・B18054	

## 2 福祉サービス事業者情報（平成30年7月現在）

事業所名：長和町 和田保育園		種別：保育所			
代表者氏名：長和町長 羽田 健一郎 (管理者氏名)：園長 小林 美智子		定員60名（現員25名）			
設置主体：長和町 経営主体：長和町		開設（指定）年月日： 昭和39年4月1日			
所在地：〒386-0701 長野県小県郡長和町和田1792番地					
電話番号：0268-88-2113		FAX番号：0268-88-2166			
ホームページアドレス： <a href="http://town.nagawa.nagana.jp">http://town.nagawa.nagana.jp</a>					
職員数	常勤職員：11名	非常勤職員 4名			
専門職員	園長 1名				
	主任 1名				
	保育士6名				
	調理員2名				
	保育キーパー1名				
施設・設備 の概要	(居室数等)	(設備等)			
	保育室(3)	トイレ(2) 図書室(1)			
	乳児室・ほふく室(1)	(野外遊具)			
	調理室(1)	砂場・ブランコ・滑り台			
	事務室(1)	クライミングジム・鉄棒・ジャングルジム			
	遊戯室・ホール(各1)	スプリング遊具・			
	野外遊技場(園庭)(1)				
保育時間	通常開所時間		時間外(延長)開所時間		
		保育短時間	保育標準時間	保育短時間	保育標準時間
	平日	8:15~16:30	7:30~18:30	7:30~8:15 16:15~19:15	18:30~19:15
	土曜	8:15~16:30	7:30~18:30	7:30~8:15 16:15~18:30	
	休業日	年末年始・日曜・祝日			

### 3 理念・基本方針

#### 【長和町 理念】

長和町教育大綱～豊かな人間性を育む、ふるさとを誇れる教育～

- (1) 健やかで明るい子どもの育成
- (2) 遊びや様々な体験を通して生きる力の基礎の育成
- (3) 自分も友達も大切にできる子どもの育成

#### 【長和町 基本方針】

- (1) 健康で明るい子
- (2) 情緒が安定した豊かな子
- (3) 仲良く活動し、楽しむ子
- (4) 意欲的に取り組み、やり抜く子
- (5) よく見、よく聞き、よく考える子
- (6) あいさつ・返事がしっかりできる子

#### 【和田保育園 理念】

- (1) 子どもの最善の利益を考慮し、現在を良く生き、望ましい未来と生きる力の基礎を養います。
- (2) 人間性を育む乳幼児期を通し、基本的な生活習慣や社会性、豊かな情操を培い、心豊かな子どもの育成に努めます。

#### 【和田保育園 目標】

〈和田の子は、明るく仲良く元気良く、みんなで楽しい保育園に〉

- 健やかで明るい子ども
- 自分も友だちも大切に作る子ども
- 夢中になって遊べる子ども

### 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

#### 【長和町の特徴】

和田保育園がある長和町は、平成の大合併により、平成 17 年 10 月、旧長門町と旧和田村が合併し誕生しました。長野県のほぼ中央に位置し、人口は約 7,000 人（約 2500 世帯）で、水田と山林に囲まれた自然豊かな地であります。歴史的には、旧石器時代の黒耀石の産地として全国的にも知られ、江戸時代には、旧中山道の長久保宿、和田宿とし栄えてきました。また、「おたや祭り」などの伝統文化が、地域の皆さんにより今日まで継承されています。

平成 18 年に新町となり、「第 1 次長和町長期総合計画」を策定し、①自然と共存し誇れるまちづくり。②元気と知恵と工夫で活力に満ちたまちづくり。③人と人心に活かした明るいまちづくり。④住民と行政が一体で創るまちづくり。の 4 つを基本目標として進めてきました。今後、新たな時代を見すえ、長和に住むすべての住民が明るく元気に暮らせるまちづくりの指針となる「新たな 10 年間の総合計画」の策定が進められています。

#### 【子育て支援・保育・学校教育の特徴】

「時代を担う子どもたちは地域の宝物」「子どもたちをすくすく伸びやかに、地域ぐるみで守り育てる」をモットーとし、教育・保育・福祉の枠を超えた子育て支援を進

めています。具体的には、妊婦の健康診査助成事業、出生祝金給付制度、また保育園では、延長保育の充実、加算保育士の配置など保育園体制の強化を図ってきました。

学校教育の面では、小中学校の特別支援教育支援員の配置、高等学校通学等補助事業など、子育てを地域ぐるみで支援する体制が整えられています。

#### 【和田保育園の特徴】

和田保育園は、昭和 39 年 4 月旧和田村に初めての公立保育園として定員 90 名で開設されました。その後、地域のニーズに応え定員は 120 名まで増加し、建物の増改築が行われました。平成 1 年 6 月に現在地へ定員 90 名の新園舎が完成し移転しました。平成 12 年には未満児室の増改築、平成 13 年に保育キーパーの導入により保育の充実を図ってきました。平成 17 年に旧長門町と合併し、長和町和田保育園となりました。

現在の園舎は、近くに和田小学校や長和町和田庁舎、和田本陣跡などがあり、旧和田村の中心地に位置しています。建物も設置 30 年が経過しますが、地元産のカラマツ材がふんだんに使用されていて、木材の柔らかさ・ぬくもりが伝わり、過ごしやすい空間となっています。また、自然の起伏を生かした広々とした園庭には、長い滑り台が設置されていて、冬にはそり遊びができるほど良い傾斜があり、園児たちにとり一年を通して楽しく活動できる場となっています。

### 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初回
---------------	----

### 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

#### ◇特に良いと思う点

○子ども達一人ひとりの個性と主体性を尊重した保育の実践がされていました。

和田保育園は現在、利用園児が 25 名という小規模保育園のため、保育士は、子ども達一人ひとりと向き合いきめ細かな対応ができる体制になっていました。保育士全体の保育スキルも高く、日々の保育の中で子ども達の「つぶやき」「ひらめき」を受け止め、その思いを大切にし、子ども達の個性や主体性を伸ばすための保育が実践されていました。

○地域の人たち皆で支える子育て（保育）支援が行われていました。

和田保育園のある和田地域では平成 21 年より、保育園、小学校、家庭、地域が連携して、子育て支援を行っていくため「和田学校コミュニティー（和田学校運営協議会・和田学校支援地域本部）」ができました。和田保育園もその中で、各関係機関や地域住民の皆さんと連携し、保育を行っていく体制が確立されていました。また、「和田学校コミュニティー通信」を年 4 回発行し地域に配布し、理解を深める活動も行われていました。

○豊かな自然環境の中で子どもたちが育むことができる保育活動が行われていました。

和田保育園をとりまく自然環境は、四季折々に変化する山々、広々とした田園地帯、心地よく吹き抜ける風の流れ等、豊かな恵みの中で子どもたちは育っています。保育園では日々の保育活動をごく普通に自然と親しみながら行っています。このような環境で育った和田保育園の子ども達は、「優しさと、思いやりを持った素直な子どもたち」とであると地域からも称賛されています。

○外部講師によるさまざまな体験をとり入れた保育の実施がされていました。

運動保育士による運動遊びが行われていました。定期的な運動プログラムの実施により、運動する機会が少なくなりがちな今日の子どもが、「生き生きと体を動かせる遊びを提供することで、子どもの運動機能の向上や頭脳・心の発達を促す」ための取組がされていました。また、外国の英会話講師が来園し、英会話や外国の文化に触れる機会を設けていました。

○すばらしい保育園環境の中での保育の実践が行われていました。

保育園は少し高台の南斜面に建物があり、日当たりがとても良く、起伏を利用した園庭は木々に囲まれ、自然の中で子ども達がのびのびと活動できる広さが確保されていました。また、各保育室や廊下も広々としていて、活動スペースも十分に取れる広さがあり、園児室のコーナーには秘密基地が作られていたり、異年齢児と一緒に食事ができるスペースも確保されていました。

建物は築30年が経過しますが、地元のカラマツ材を使用した木造建築であり、木材のかおりや癒しを感じられ、ぬくもりのある心地よい空間となっていました。

◇特に改善する必要があると思う点

○保育園利用園児減少への対応について。

和田地域の人口減少に伴い、子どもの数が減り、和田保育園を利用する園児数が年々少なくなっています。保育園の現在の定員が60名に対して、実利用園児が25名であり、今後も減少化の傾向が進むことが予想されます。少人数になりゆったりとした関わりや、広々としたスペースの活用ができる等の利点もありますが、これ以上の利用園児の減少は、保育園の経営・運営面そのものにも大きく関わってくると考えられます。また、少人数になることにより、日々の活動や行事などへの対応も心配され、保育サービスを保持していくことへの影響が懸念されます。保育園独自でできること、長和町行政として対処することを整理して、今後の具体的な対応策について検討されることを期待します。

○職員研修・講習への更なる向上への取組を期待します。

各種の外部研修会へは、職員のやり繰りを行い積極的に参加していることが確認されました。また、園内研修についても定期的に行われて実施がされていますが、和田保育園が目指す、園児一人ひとりの個性と主体性を伸ばす保育へのあり方についての研修や、新人保育士への専門的教育等に今以上に取り組んでいただき、和田保育園としての特徴ある保育の確立を全員の協力により実現されることを期待します。

○保育士の安定した確保への対応について。

保育士等の働く人々の確保が難しい時代となってきていますが、和田保育園としても安定した職員の確保の対応が求められています。今後、保育士等の人材の確保については、町の担当課との密接な連携を行い、職員の不足、不在にならないような体制を確立していくことをお願い致します。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

8 利用者調査の結果 アンケート方式の場合（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）